

青葉スポーツセンターのトレーニング器具の破損により利用者が負傷したことについて

青葉スポーツセンタートレーニング室において、利用者（男性、大学生）がトレーニング器具（ツインハイプリーマシ）ン）を使用中、器具の滑車部分が破損し、利用者の額にあたり、額を7針縫う負傷をしました。

当該トレーニング器具については、破損原因の調査を行うとともに、他のトレーニング器具についても緊急安全点検を実施しました。

1 経過

(1) 5月29日（火）

トレーニング室にて、当該トレーニング器具を、重さ45キログラムの負荷で使用し、当該器具の滑車を固定していたボルトが折れ、滑車が利用者の額部分に当たり負傷したため、救急車で横浜総合病院に搬送されました。（スポーツセンタースタッフも同行）

診断結果は、前頭部（額）裂傷で、額を7針縫いましたが、検査の結果、脳や骨には異常はなく、治療後に帰宅されました。

(2) 5月30日（水）

青葉区地域振興課が青葉スポーツセンターから送られた事故連絡表を確認しました。

(3) 6月5日（火）

市民活力推進局スポーツ振興課が事故連絡表を確認しました。

(4) 6月6日（水）

記者発表を行いました。

2 原因

当該トレーニング器具の破損原因については、専門業者に依頼し、現在調査中です。

3 対応状況

(1) 6月6日（水）に青葉スポーツセンタートレーニング室内の他の器具についても、緊急安全点検を実施したところ問題は見受けられませんでした。

(2) 6月6日（水）に同様の器具が設置されている、市内スポーツセンター17箇所において、同器具を使用停止とするとともに、その他の器具についても緊急安全点検を実施したところ問題は見受けられませんでした。

(3) 6月7日（木）の副区長会で今回の事故の内容を伝え、今後の再発防止及び万が一事故があった際の迅速な連絡について、周知徹底しました。

【参考】

・破損したトレーニング器具：ツインハイプリーマシ（イタリア製 TEC A社）【平成8年度購入】

・青葉スポーツセンター

所在地 横浜市青葉区市ヶ尾31-4 開設年月日 平成7年4月25日

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建（1部鉄筋コンクリート及び鉄骨造）

延床面積 3,709㎡

指定管理者 株式会社コナミススポーツ&ライフ

ツインハイプリーマシン



滑車（プーリー）とワイヤーを使っておもりを動かし、負荷をかけるウェイトトレーニング機器です。様々な方向への負荷をかけることができるため、多種目のトレーニングが実施可能です。